

# EVE MAサーバーの移行について



[www.dds.co.jp](http://www.dds.co.jp)

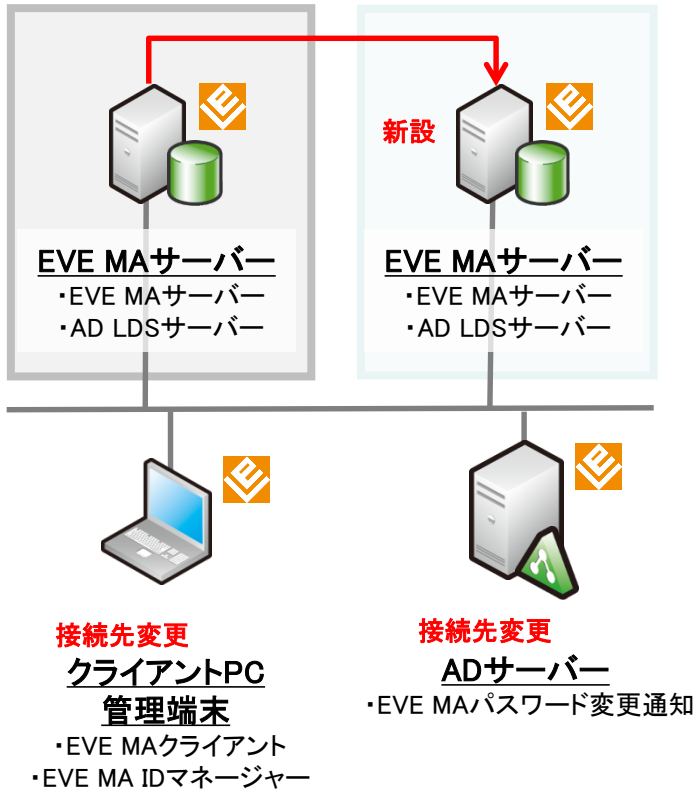
2020年2月  
株式会社ディー・ディー・エス  
EVE MAサポートセンター

# 1. 移行パターン ～MAサーバー1台の場合～

1台のEVE MAサーバーとデータベースサーバー(AD LDS)を新環境に移行します。  
以下の2パターンに対応しています。

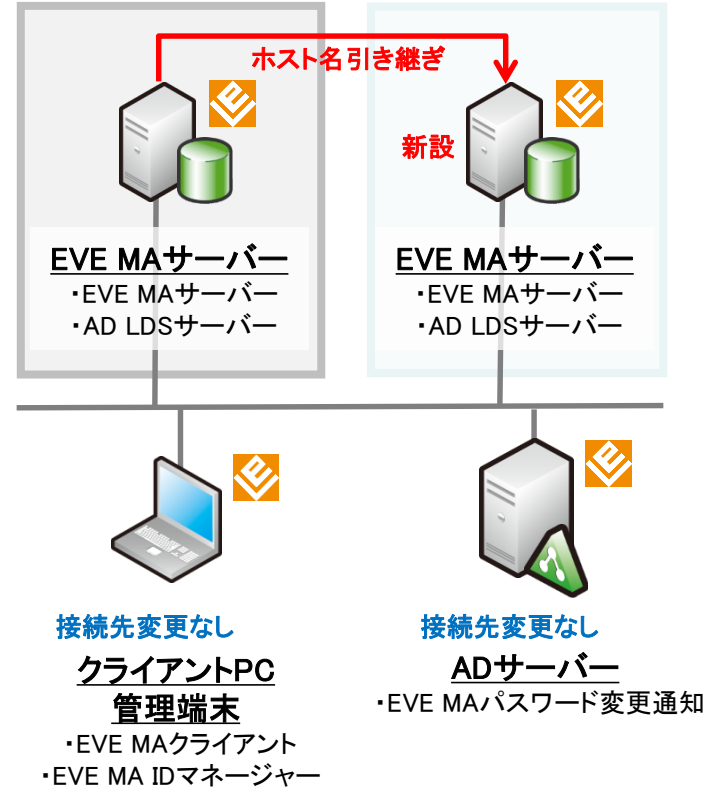
## 【パターン1】MAサーバー1台でホスト名引き継ぎなし

サーバー1台を別端末に移行し  
クライアントの接続先を変更する。



## 【パターン2】MAサーバー1台でホスト名引き継ぎあり

サーバー1台を別端末に移行し  
新サーバーが旧サーバーのホスト名を引き継ぐ。



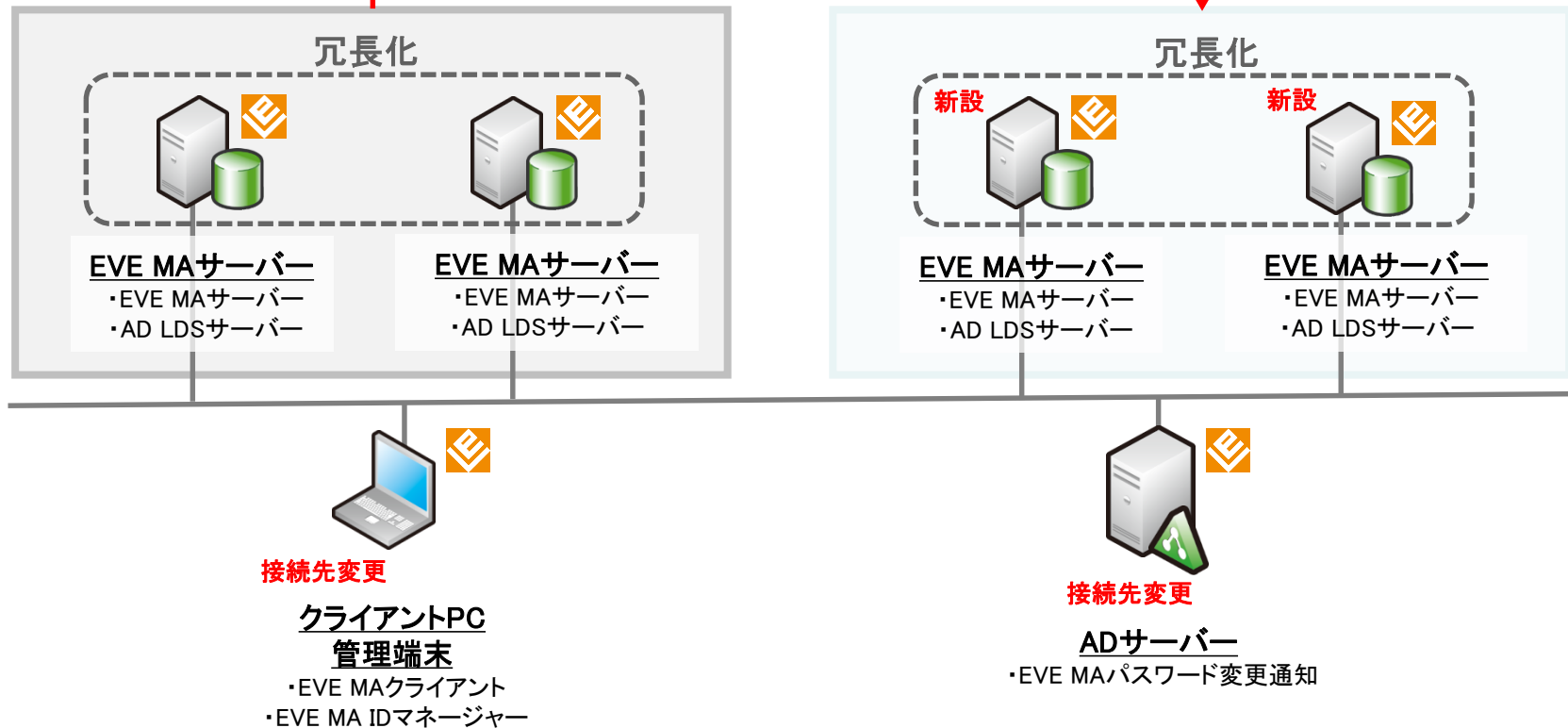
## 2. 移行パターン ～MAサーバー2台の場合～

2台のEVE MAサーバーとデータベースサーバー(AD LDS)を新環境に移行します。

### 【パターン3】MAサーバー2台以上でホスト名引き継ぎなし

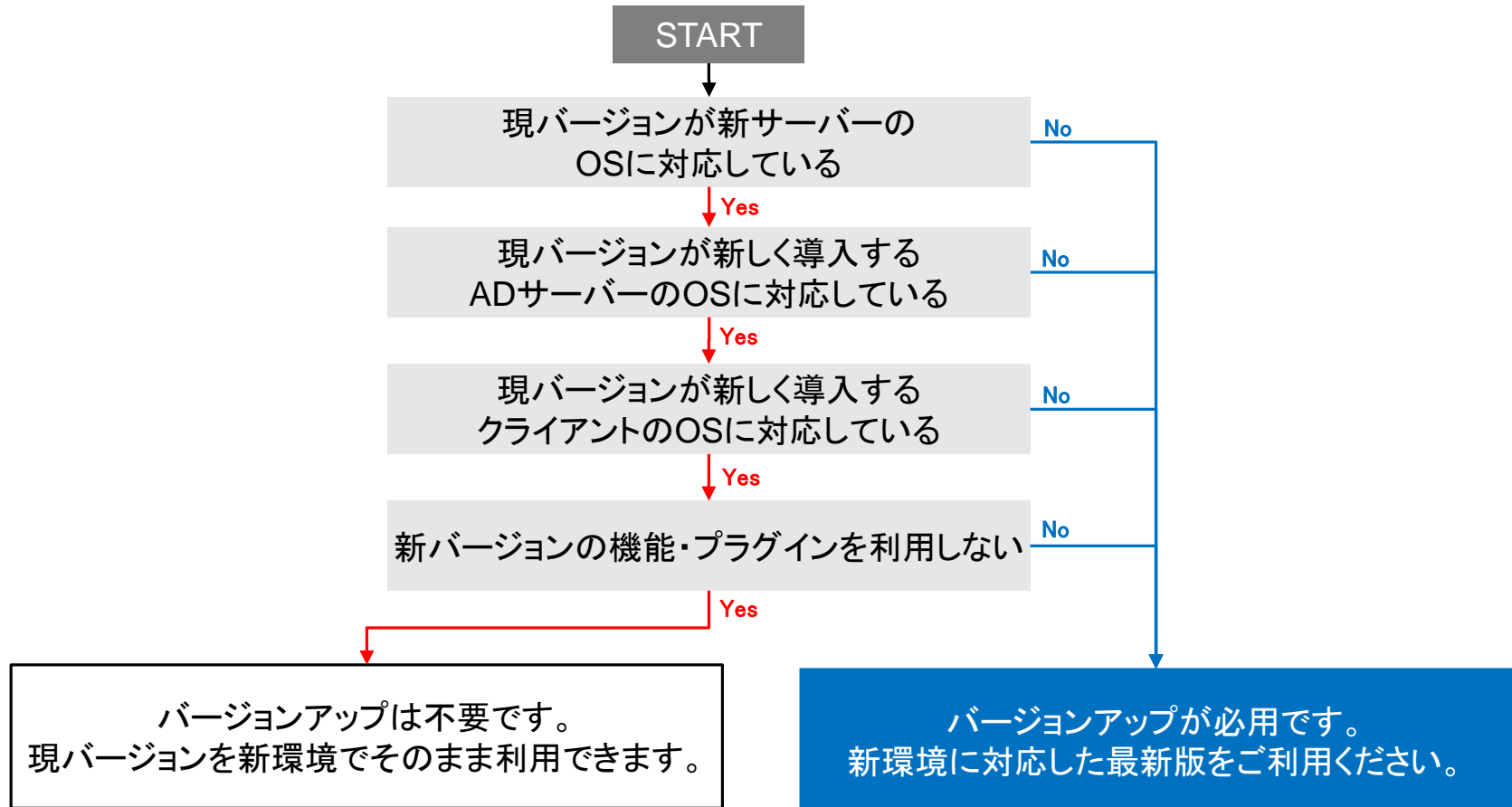
※EVE MAサーバーが3台以上の場合も同様です。  
ホスト名の引き継ぎには対応していません。

サーバー2台を別端末に移行し  
クライアントの接続先を変更する。



### 3. バージョンアップ要・不要の確認

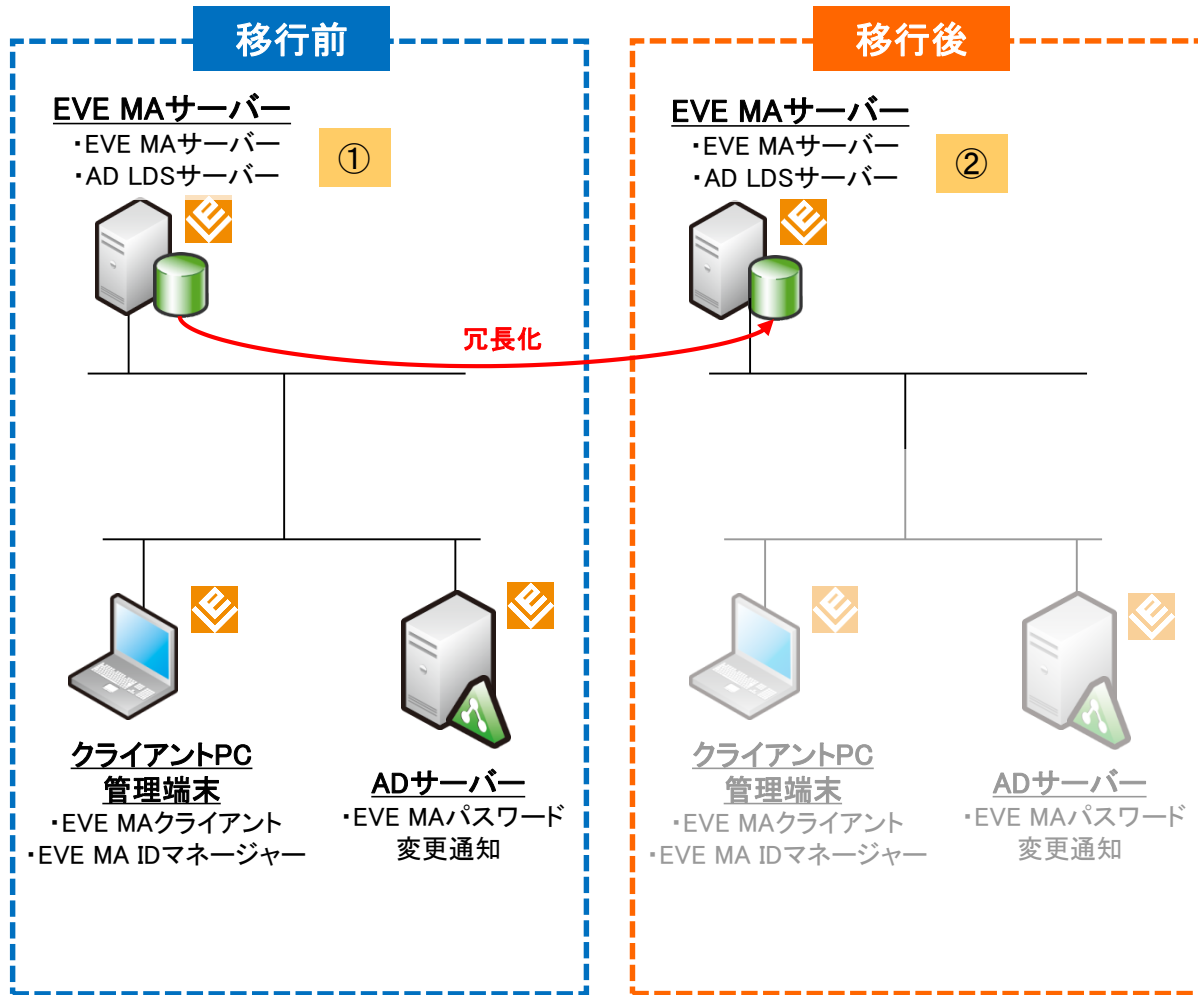
サーバー移行にあたり、EVE MAのバージョンアップが必要かどうかを確認します。



製品対応OS一覧表、最新バージョン取得方法については、  
DDSサポートサイト(<http://support.dds.co.jp>)よりご確認いただけます。

# 4-1. 【パターン1】MAサーバー1台の移行(新EVE MAサーバーの構築)

## ■ 新EVE MAサーバーの構築



### ①MAサーバーのバージョンアップ

現行環境のMAサーバーを新環境にあわせてバージョンアップする。  
 バージョンアップ手順の詳細については、『EVE MA インストールマニュアル』を参照してください。

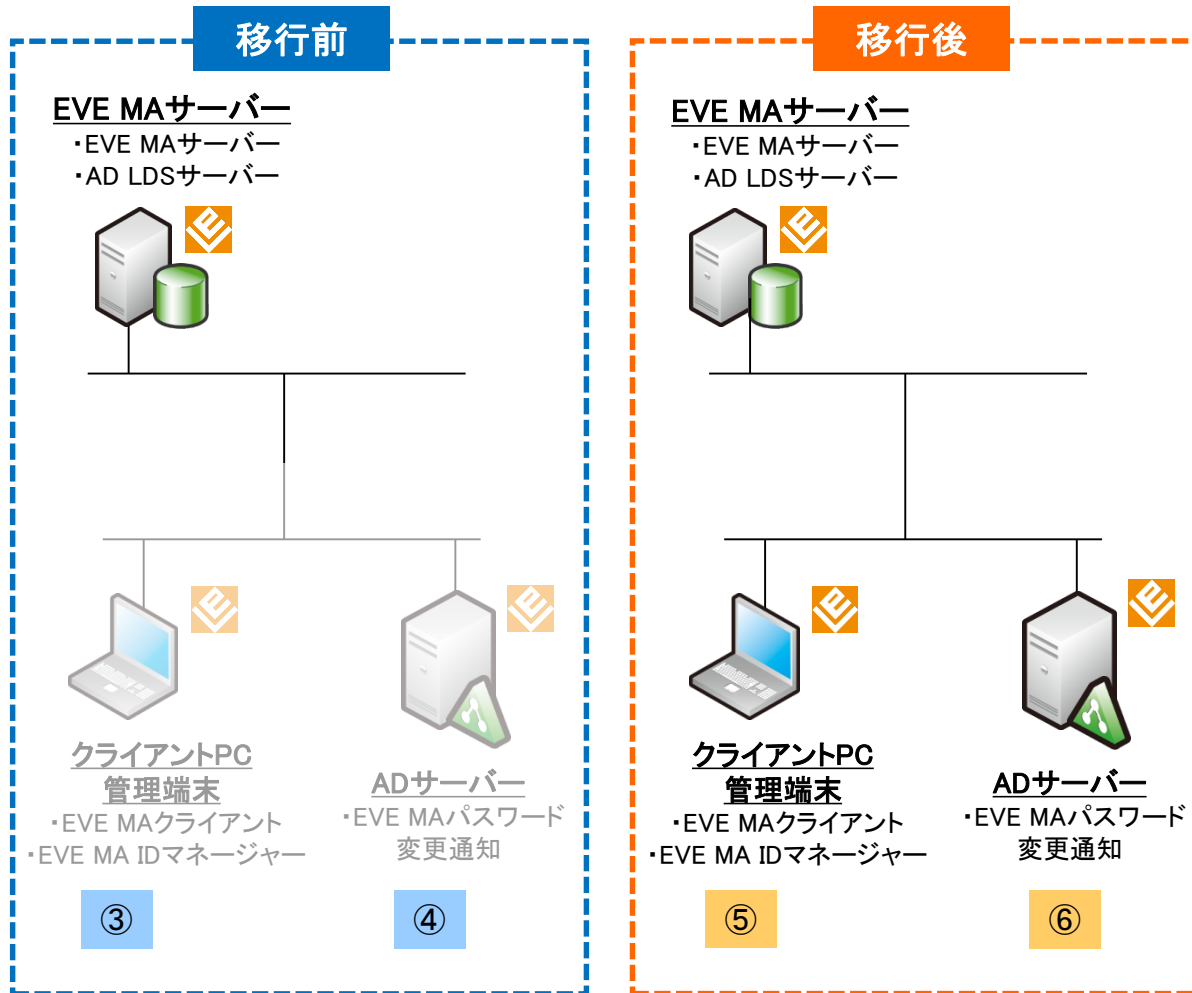
※ 同じバージョンが利用できる場合は不要です。

### ②新EVE MAサーバー構築

新サーバーを現行サーバーのレプリカサーバーとして構築する。  
 構築手順の詳細については、『EVE MA インストールマニュアル』-「6.2 AD LDS サーバーとEVE MA サーバーの冗長化」を参照してください。

## 4-2. 【パターン1】MAサーバー1台の移行(クライアント端末接続先変更)

### ■クライアント端末接続先変更(再インストール選択時 ※)



- ③EVE MAクライアント アンインストール
- ④パスワード変更通知アンインストール

- ⑤EVE MAクライアントインストール
- ⑥パスワード変更通知インストール

インストール設定ファイル(install.ini)のキー項目値を新サーバーに合わせて書き換え、新規インストールする。

- ・インストール直後から、新EVE MAサーバーへ接続される環境となる。
- ・ソフトウェアインストール時、OSの再起動が必要となる。

※ 接続先変更の作業は再インストールする方法の他にレジストリ設定値を変更する方法でも対応が可能です。

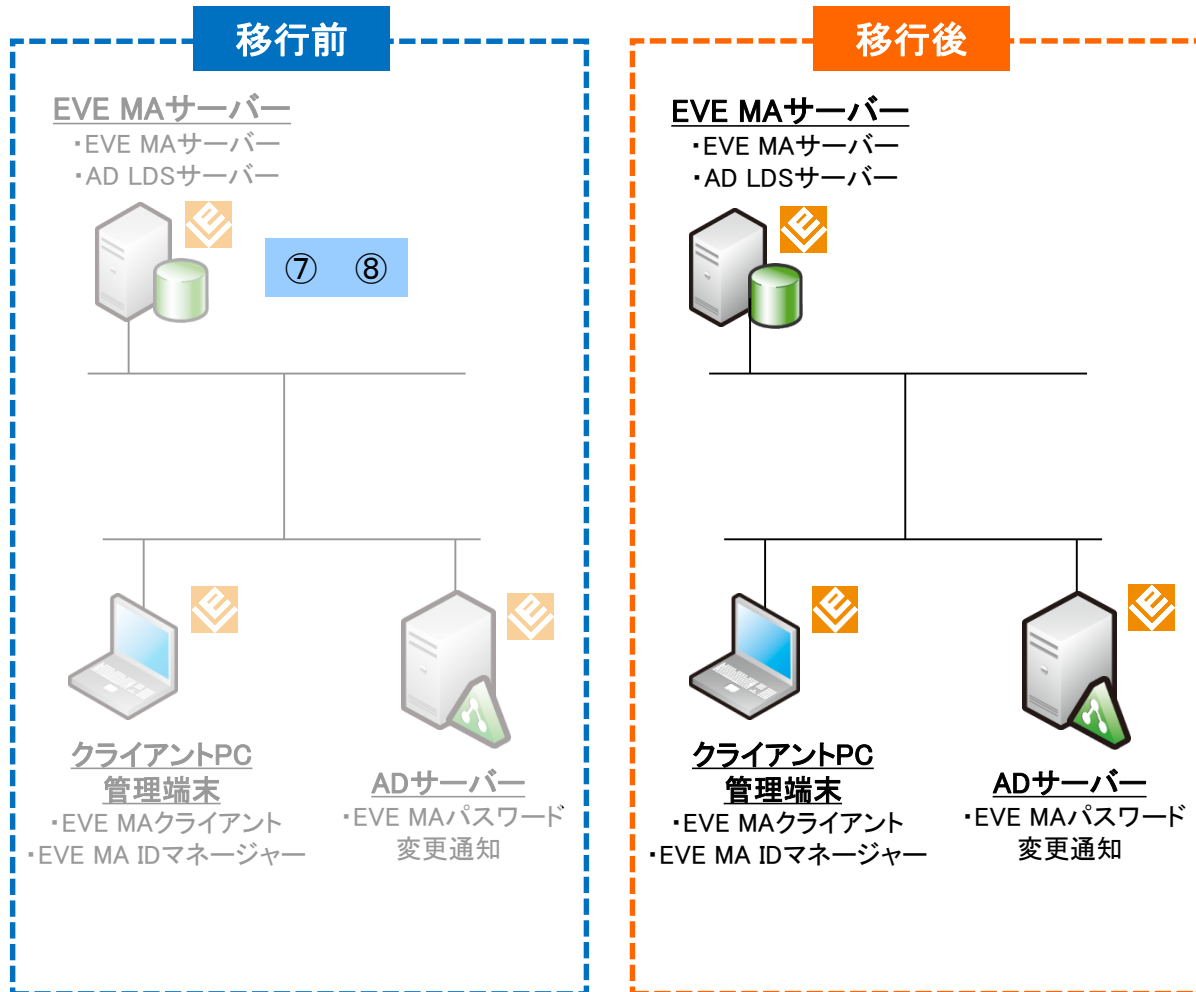
[レジストリ設定箇所]  
 キー: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE  
 ¥DDS¥EVEMA¥Client  
 名前: Server0  
 種類: REG\_SZ  
 データ: https://<MAサーバーのIPアドレスまたはホスト名>:<ポート番号>

EVE MAクライアント、パスワード変更通知共通。  
 設定変更後、EVE MAクライアントはOS再起動、パスワード変更通知は、パスワード変更通知サービス(サービス名: EVE MA Pwd Notifier Service)の再起動が必要となる。



### 4-3. 【パターン1】MAサーバー1台の移行(移行完了後)

■移行完了後 (※全クライアント端末の接続先変更が終了した段階で実施)



**⑦EVE MAサーバーアンインストール**

EVE MAサーバーをアンインストールする。

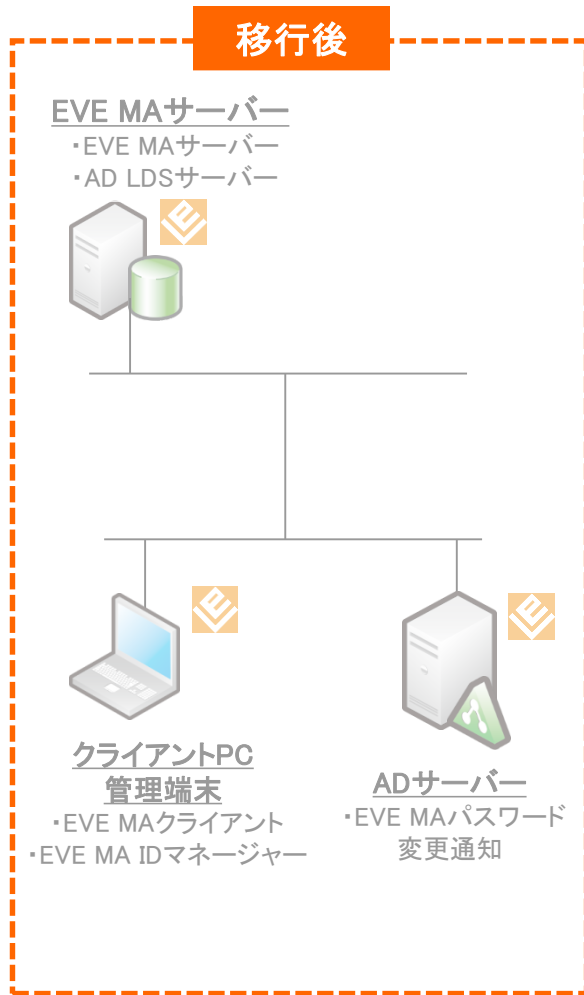
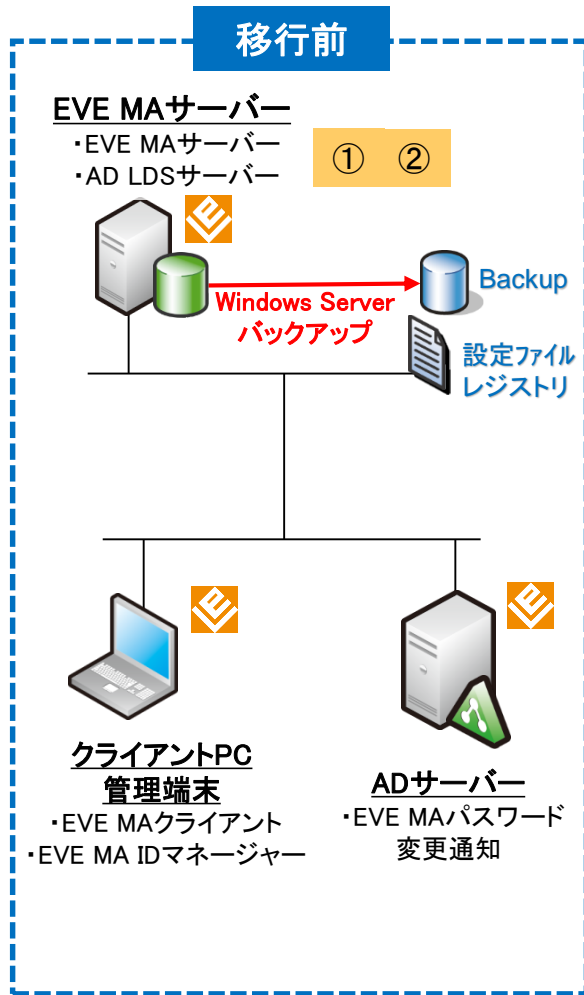
**⑧AD LDSインスタンス アンインストール**

AD LDSインスタンスをアンインストールする。

※ AD LDSインスタンスをアンインストールせずに旧サーバーを切り離すと、新サーバーにレプリケーション情報が残ります。必ずオンライン状態でAD LDSインスタンスのアンインストールを行ってください。

# 5-1. 【パターン2】MAサーバー1台の移行(バックアップの取得)

## ■ バックアップの取得



### ①MAサーバーのバージョンアップ

現行環境のMAサーバーを新環境にあわせてバージョンアップする。  
バージョンアップ手順の詳細については、『EVE MA インストールマニュアル』を参照してください。

※ 同じバージョンが利用できる場合は不要です。

### ②現行サーバーのバックアップを取得

Windows Serverバックアップで現行環境のAD LDSインスタンスのバックアップを取得する。

【AD LDSインスタンスのバックアップ】  
[https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc772252\(v=ws.11\).aspx](https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc772252(v=ws.11).aspx)

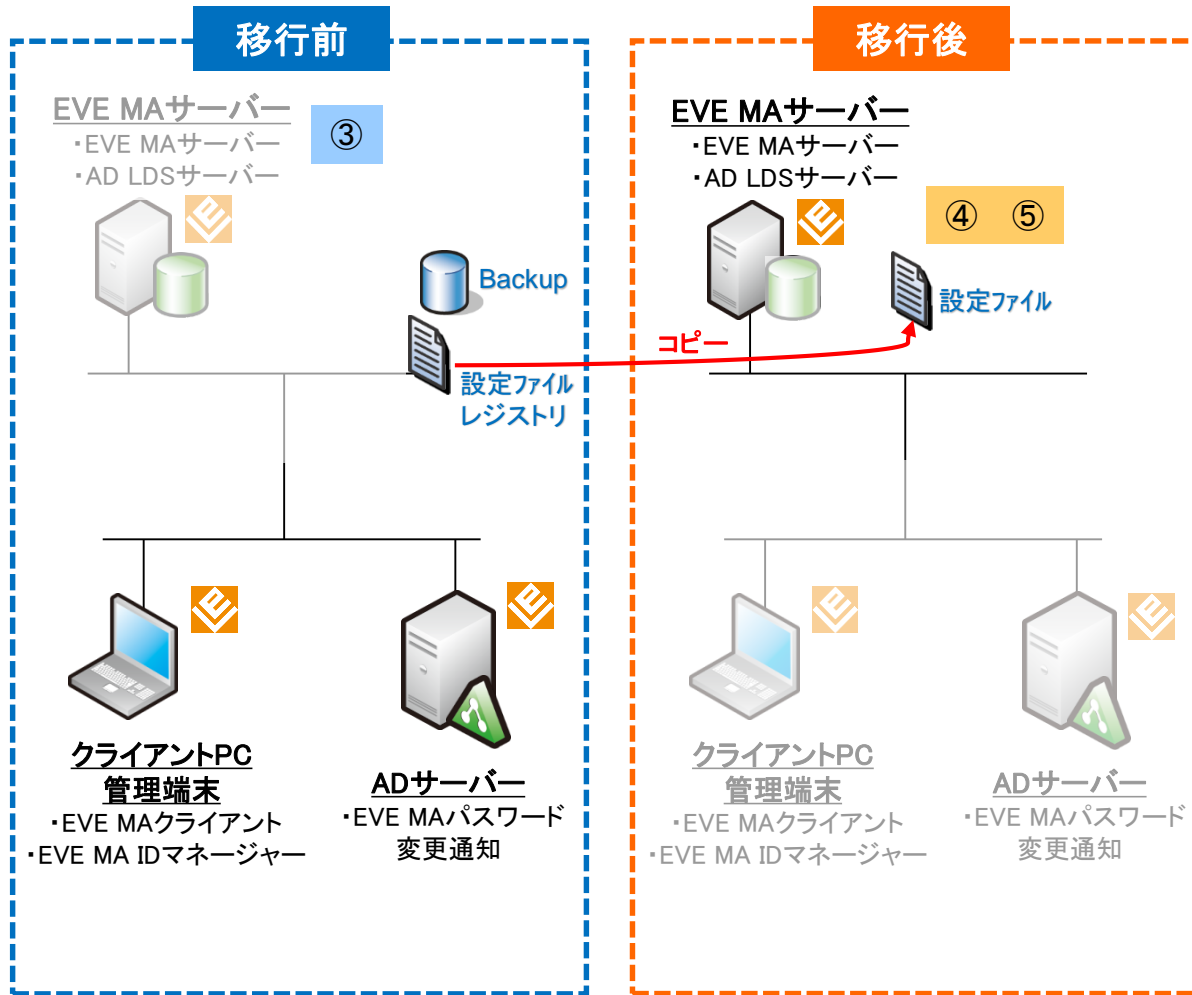
※ バックアップ元には以下の内容を指定します。  
 %Program Files%\Microsoft ADAM<AD LDS  
 インスタンス名>%data

以下の設定ファイル類もあわせてバックアップする  
 ・ライセンスファイル(license.txt)  
 ・maconfig.iniファイル  
 ・%HEKY\_LOCAL\_MACHINE%DDS%EVEMA  
 配下のレジストリキー



## 5-2. 【パターン2】MAサーバー1台の移行(新EVE MAサーバーの構築)

### ■新EVE MAサーバーの構築



#### ③ 現行サーバーを停止

現行環境のEVE MAサーバーを停止します。

#### ④ 新EVE MAサーバーを構築

ホスト名、IPアドレスを現行サーバーと同じにした新サーバーを用意する。

『EVE MA インストールマニュアル』を参照し、EVE MA、AD LDSサーバーをインストールする。  
 「3.3.5 AD LDSサービスをインストールする」  
 「3.4.EVE MAサーバーをインストールする」  
 「3.6.3 AD LDS インスタンスを作成する」

※AD LDSインスタンスのインスタンス名、ポート番号は現行環境と同一にする。  
 ※AD LDSインスタンス構築後のホスト名変更には対応していません。

#### ⑤ 新サーバーを設定

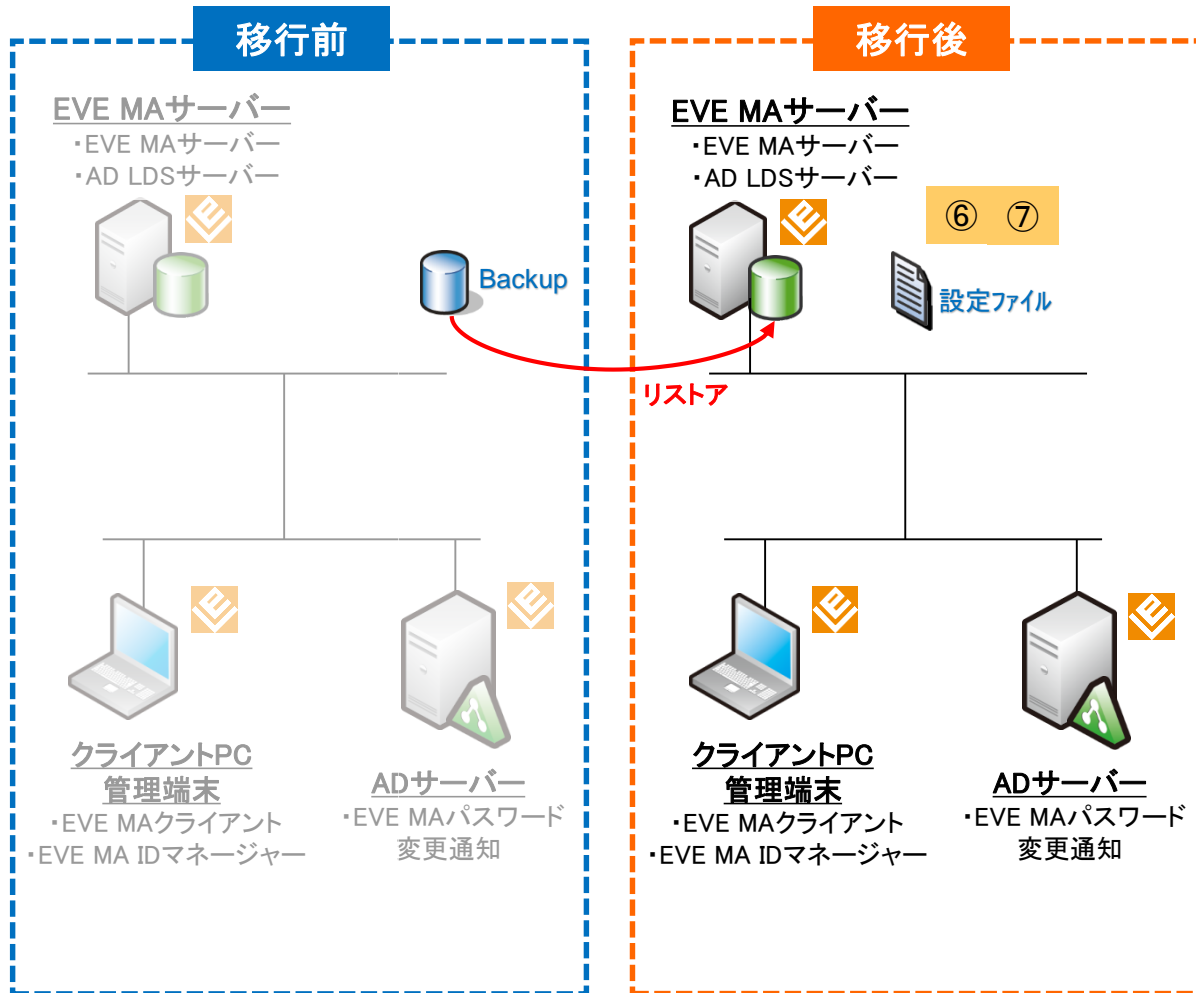
現行サーバーよりコピーしたmaconfig.iniファイルを用いて、EVE MAサーバーの設定を行う。

『EVE MA インストールマニュアル』  
 「3.7 EVE MAサーバーを設定する」を参照してください。

※ 現/新環境で差異がある項目は、新環境に合わせて設定値の書き換えが必要。

## 5-3. 【パターン2】MAサーバー1台の移行(データベースのリストア)

### ■ データベースのリストア



#### ⑥ データベースのリストア

Windows Serverバックアップで新サーバーに現行環境で取得したAD LDSインスタンスのバックアップデータをリストアする。

#### 【AD LDSインスタンスのリストア】

[https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc732853\(v=ws.11\).aspx](https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc732853(v=ws.11).aspx)

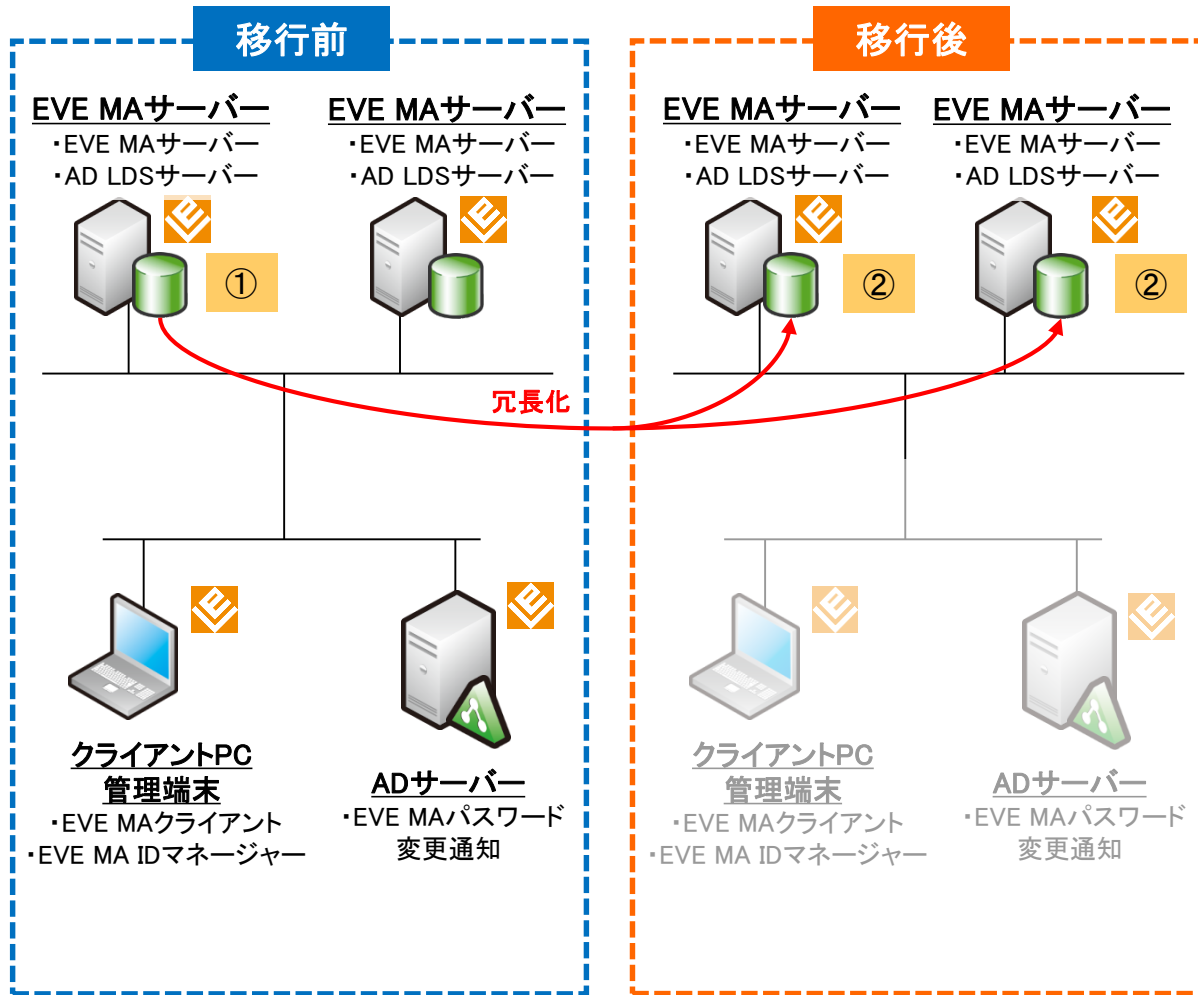
※ “Restoring an AD LDS instance that does not belong to a configuration set” を参照してください

#### ⑦ 新サーバーの稼働開始

現行MAサーバーよりコピーしたlicense.txtファイルを配置し、AD LDSインスタンス、EVE MAサーバーのサービスを開始、または再起動する。  
 開始直後から、クライアントは新EVE MAサーバーへ接続される環境となる。

# 6-1. 【パターン3】MAサーバー2台の移行(新EVE MAサーバーの構築)

## ■ 新EVE MAサーバーの構築



### ①MAサーバーのバージョンアップ

現行環境のMAサーバーを新環境にあわせてバージョンアップする。  
 バージョンアップ手順の詳細については、『EVE MA インストールマニュアル』を参照してください。

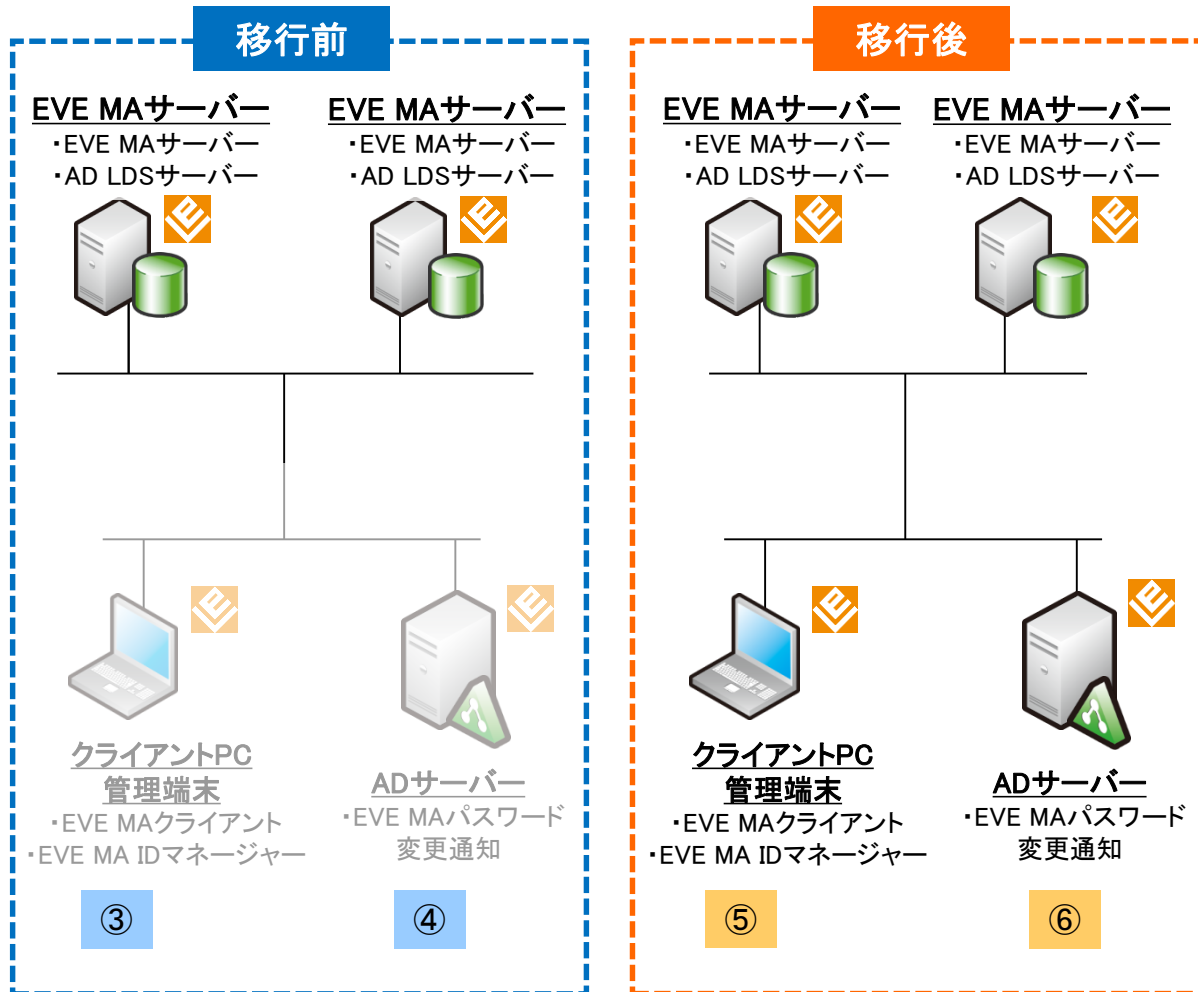
※ 同じバージョンが利用できる場合は不要です。

### ②新EVE MAサーバー構築

新サーバーを現行サーバーのレプリカサーバーとして構築する。  
 構築手順の詳細については、『EVE MA インストールマニュアル』-「6.2 AD LDS サーバーとEVE MA サーバーの冗長化」を参照してください。

## 6-2. 【パターン3】MAサーバー2台の移行(クライアント端末接続先変更)

### ■クライアント端末接続先変更(再インストール選択時 ※)



- ③EVE MAクライアント アンインストール
- ④パスワード変更通知アンインストール

- ⑤EVE MAクライアント インストール
- ⑥パスワード変更通知インストール

インストール設定ファイル(install.ini)のキー項目値を新サーバーに合わせて書き換え、新規インストールする。

- ・インストール直後から、新EVE MAサーバーへ接続される環境となる。
- ・ソフトウェアインストール時、OSの再起動が必要となる。

※ 接続先変更の作業は再インストールする方法の他にレジストリ設定値を変更する方法でも対応が可能です。

[レジストリ設定箇所]

キー: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE  
¥DDS¥EVEMA¥Client

名前: Server0-15(環境によります)

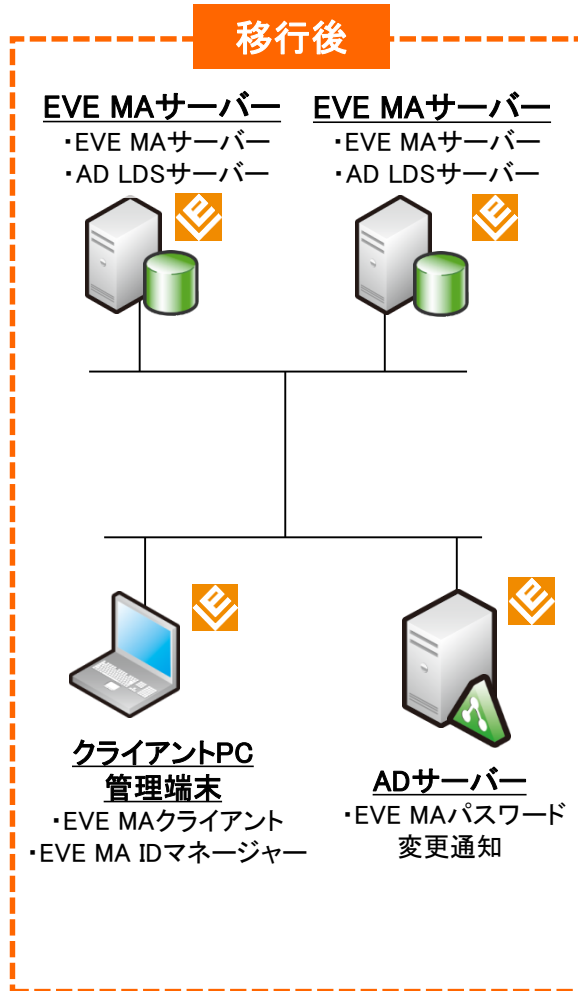
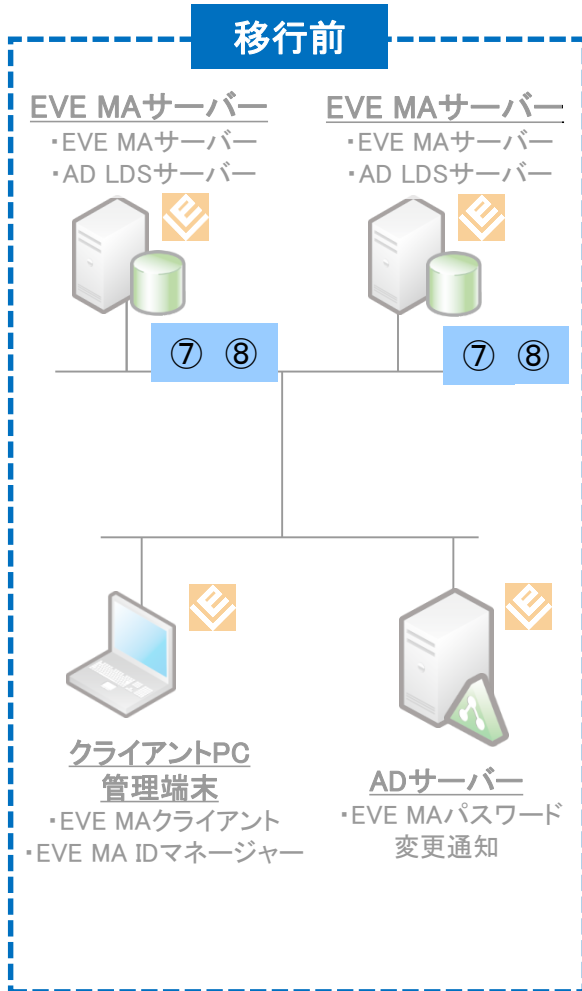
種類: REG\_SZ

データ: <優先順位>;https://<MAサーバーのIPアドレスまたはホスト名>;<ポート番号>

EVE MAクライアント、パスワード変更通知共通。  
設定変更後、EVE MAクライアントはOS再起動、パスワード変更通知は、パスワード変更通知サービス(サービス名: EVE MA Pwd Notifier Service)の再起動が必要となる。

## 6-3. 【パターン3】MAサーバー2台の移行(移行完了後)

■移行完了後 (※全クライアント端末の接続先変更が終了した段階で実施)



### ⑦EVE MAサーバーアンインストール

EVE MAサーバーをアンインストールする。

### ⑧AD LDSインスタンス アンインストール

AD LDSインスタンスをアンインストールする。

※AD LDSインスタンスをアンインストールせずに旧サーバーを切り離すと、新サーバーにレプリケーション情報が残ります。  
 必ずオンライン状態でAD LDSインスタンスのアンインストールを行ってください。